

市町村長・管理職特別セミナー～自治体経営の課題～・地域経営塾

1月11日・12日に、「市町村長特別セミナー～自治体経営の課題～・地域経営塾」及び「管理職特別セミナー～自治体経営の課題～」を開催し、全国各地から計93名の市町村長、管理職等の皆様にご参加いただきました。

初日は、「リーダーシップと組織論」と題して、青山社中株式会社筆頭代表CEOの朝比奈一郎氏から、激動の時代を拓く「大官民連携」構想をテーマに、リーダーシップの本質やリーダーシップの必要性、リーダーシップの身に付け方などについてご講演いただきました。参加者からは、「リーダーシップは「指導力」ではなく「始動力」という言葉が印象的だった」、「目から鱗が落ちる如くの新たな視点で、今後の行政運営の確認につながる内容だった」、「これからの時代に真に必要とされる人材というものが良く理解できた」などの感想をいただきました。

続いて、「活力ある多様な地域社会の実現に向けて」と題して総務省地域力創造審議官の山越伸子氏から、令和6年度地方財政対策のポイント、自治体DXの推進、こども・子育て政策、地域活性化などその他総務省の主な施策等についてご講演いただきました。参加者からは、「全国自治体の各種施策を進める中で、総務省による情報提供は非常に参考にすべきものと思った」、「あらゆる総務省の制度事業支援を活用すべく、内容を常に勉強していたが、更に利用できる支援制度等を再発見できて大変良かった」などの感想をいただきました。

2日目は、「トイレ事情から学ぶ地域づくり」と題して、アントイレプランナー代表の白倉正子氏から、近年ではSDGsでも取り上げられ、社会問題や経済発展等あらゆる分野に関係するトイレ事情について、行政機関や自治体関係者にしか対処できないトイレ課題や、能登半島地震での最新のトイレ対策を含め、講師の経験談を踏まえながら、幅広くご講演いただきました。参加者からは、「災害時の対応についてまさに直近の情報を交えながらの講演内容で大変参考になった」、「日常生活でも災害時の非常時にもとても大事な問題であり、これからも繰り返しセミナーで取り上げて欲しい」、「ここまでトイレを深く追及している方がいるとは。すごい方がいます。目からウロコです」などの感想をいただきました。

最後に、「自治体におけるLGBTに関する取組み」と題して、認定NPO法人虹色ダイバーシティ理事長・代表の村木真紀氏から、性的指向や性自認に基づく差別のない社会を目指し、LGBTを始めとした性的少数者に対する理解を深める内容を中心に、自治体に求められている対応や、パートナーシップ制度などの具体的な取組みについてご講演いただきました。参加者からは、「LGBTQに関するまとまった講演は初めてで、大変勉強になった」、「できるだけ早く広く、多くの人が当たり前の知識として知って欲しい内容だった。すごく分かりやすく、でも非常に考えさせられる内容だった」などの感想をいただきました。

リーダーシップと組織論

青山社中株式会社筆頭代表CEO
朝比奈 一郎氏



活力ある多様な地域社会の実現に向けて

総務省地域力創造審議官
山越 伸子氏



トイレ事情から学ぶ地域づくり

アントイレプランナー代表
白倉 正子氏



自治体におけるLGBTに関する取組み

認定NPO法人虹色ダイバーシティ
理事長・代表
村木 真紀氏



市町村議会議員特別セミナー

市町村議会議員特別セミナーを、1月9日・10日の2日間の日程で開催しました。全国各地からご参加いただいた121名の市町村議会議員の皆様に聴講いただきました。

初日は、「デジタル田園都市国家構想の実現に向けて」と題して、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局長の吉川浩民氏から、日本の人口推移等の統計データを用いて、将来に向けていかに地方の活性化が必要であるのかについての説明と、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の交付金のメニューや各自治体の導入事例についてご講演いただきました。

参加者からは、「交付金の活用事例が分かりやすかった。本町においても積極的に活用すべきと感じた」、「自治体に創意工夫を促しながら、地域全体がよい方向へ向かうよう努力したいと思う」等の感想をいただきました。

次に、「デジタルで新しい行政のカタチを実現」と題して、株式会社トラストバンク取締役兼パブリテック事業部長の木澤真澄氏から、全国の自治体の約75%が導入している自治体向けビジネスチャットツール「LoGoチャット」や、同約30%が導入している行政手続きデジタル化ツール「LoGoフォーム」についての事業概要、活用方法及び導入事例についてご講演いただきました。

参加者からは、「自治体におけるLoGoチャットの使い道の

重要性が理解できた」、「行政のデジタル化は人員不足の各自治体にとって不可欠であり、対策のヒントになった」等の感想をいただきました。

2日目は、「稼ぐ観光政策～市町村における観光政策の落とし穴～」と題して、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部准教授の篠原靖氏から、単なる観光政策ではなく、「稼ぐ」という点に主眼をおいた自治体が行っている観光政策の事例を紹介しながら、「稼ぐ」ためには具体的にどのような取組みをするべきかについてご講演いただきました。

参加者からは、「観光政策の着眼点を考えるよい機会となった」、「数を追う観光から、稼ぐ観光への転機が最大の課題であることを学んだ」等の感想をいただきました。

最後に、「自治体×アナウンサーで創る地方が主役の未来」と題して、株式会社Cheering（チアリング）代表取締役の長崎真友子氏から、地方創生アナウンサー団体「女子アナ47」の事業概要の説明と、これまでの自治体等での地域との連携イベントなどの実施事例を交え、「地方から日本を元気に」をコンセプトとして行っている取組みについてご講演いただきました。

参加者からは、「自治体広報の多様化の新たな方策について気付きをいただいた」、「情報発信の仕方にこんな方法があったのかと目からウロコだった」等の感想をいただきました。

デジタル田園都市
国家構想の
実現に向けて

内閣官房デジタル田園都市国家構想
実現会議事務局長
吉川 浩民氏

デジタルで
新しい行政の
カタチを実現

株式会社トラストバンク取締役兼
パブリテック事業部長
木澤 真澄氏

稼ぐ観光政策
～市町村における観
光政策の落とし穴～

跡見学園女子大学観光
コミュニティ学部准教授
篠原 靖氏

自治体×アナウンサー
で創る地方が
主役の未来

株式会社Cheering（チアリング）
代表取締役
長崎 真友子氏

